

第13回高齢者集合住宅研究大会

開催日 令和4年12月6日（火）

場所 大崎ブライトコアホール
ハイブリット開催

発表演題募集を開始しました

参加者の募集開始は8月以降となります。

発表された方によかったことを聞いてみました！

研究大会で発表された方の多くは、所属会社でのステップアップ（評価されています）しています。
よかったことを聞いてみました。

- 問題（困難）が整理でき、改善につながった！
- 特に他事業さんと良好な関係のきっかけになった。
- 他社だから、質問しづらい・できないと思っていたのは間違いで、何度も相談・質問することで地域の信頼を得られるきっかけだったと思う。
- 個別事例の発表を家族・ケアマネに報告したところ、とても喜ばれた等

大変な中にも運営や現場改善につながったとお聞きしています！

演題募集要項

良質なサービス付き高齢者向け住宅の運営を目指し、様々な問題を試行錯誤しながら解決し業務改善を行っていると思います。ぜひ皆様のサ高住で「このようにしたらご入居者様の生活やスタッフの業務が改善した（以前より具体的にどう良くなった）」等の研究・事例をぜひ発表してください。

○演題発表内容：サ高住に関する内容（参考テーマ次ページあり）

○**申込締切：2022年9月10日**

○申込方法：メール

e-mail:sakoujyubukai@shpo.or.jp にて以下をお申し込み下さい。

- 【1】発表演題名（仮題可）
- 【2】発表要旨（住宅概要は外し800文字程度）
- 【3】発表者氏名/法人名
- 【4】連絡先（e-mail及び電話番号）

※発表者として選ばれた方には、追って抄録の提出をお願い致します。

当日の発表時間 1組10分程度予定（発表10分、質疑応答3分）

発表件数にて変更することございます。感染状況の変化を鑑みて、当日オンライン発表または、事前録画等をお願いする場合がございます。その際はあらかじめご相談させていただきます。

過去の発表演題について（参考）

例えば以下内容での発表をお待ちしています。

- ・ 看取り事例
 - ・ 入居後に介護保険サービス導入により、生活改善の事例
 - ・ 入居後、環境整備等により介護度が軽くなった（援助減った）事例
 - ・ 認知症の入居者（B P S Dのある方）の生活事例
 - ・ 緊急通報（ナースコール）が頻回な方の生活改善事例
 - ・ 医療連携（訪問看護、往診）との係り方が改善した事例
 - ・ 定期巡回訪問介護、看護を利用することで生活が改善した事例
 - ・ 小規模多機能、通所介護等の他事業所併設の連携事例
 - ・ 地域連携・地域交流の事例（入居者の社会資源・サービスの活用）
 - ・ 入居者満足度の改善・向上した例
 - ・ 住まいとケアの分離について
 - ・ 共生型として連携している事例
 - ・ ICT導入について
- などあくまでも参考演題です。

ぜひ取り組みを他サ高住の皆さんに発信してみませんか。